

情報公開文書

研究の名称	日本先天性心疾患インターベンション学会レジストリー (Japan Congenital Interventional Cardiology Registry, JCIC-R)へのオンライン症例登録
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学医学部小児科学教室 廣野恵一
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学附属病院小児科で心臓カテーテル治療を受けた患者</p> <p>【研究の目的・意義】 日本先天性心疾患インターベンション学会（以下、JCIC学会）では、小児・先天性心臓病に対するカテーテル治療をより安全に、確実に行うために2012年から日本先天性心疾患インターベンション学会データベース(JCIC-DB)の構築を行い、2013年から登録が開始されました。これは、全国からインターネット経由で小児・先天性心臓病に対するカテーテル治療に関するデータの登録を行い、データベース化することによって、日本の小児・先天性心臓病の治療の進歩、ひいては国民の福祉健康増進に寄与することを目的としています。このデータベース化が進むことにより、予定された小児・先天性心臓病に対するカテーテル治療の効果や安全性が予測可能となり、患者に適切な情報開示がなされ、より良い治療を選択出来るというメリットが生まれます。</p> <p>【研究の方法】 小児・先天性心臓病に対するカテーテル治療の内容・治療時の身体状態・治療後の経過に関する情報をウェブ上で登録していきます。全国集計された結果は、学会員にフィードバックされます。小児・先天性心臓病を有する患者は、一生の間で複数回の外科的・内科的（経カテーテル的）治療を要することも多く、それらの医療が複数の施設にまたがることも少なくありません。患者が一貫した治療を受けることが出来るように、本調査では、既存の「日本先天性心臓血管外科手術データベース」に登録された情報や、協力施設の間での患者さんの過去の医療情報を共有出来るようにしていきます。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 2023年4月～ 2032年1月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 日本小児循環器学会や日本先天性心疾患インターベンション学会にて発表や論文発表を行います。また、重要な結果については海外に向けて論文発表していきます。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	年齢、性別、身長、体重や施行されたカテーテル治療に関連した医療情報
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	日本先天性心疾患インターベンション学会 理事長 大月審一
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。

<p>試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）</p>	<p>富山大学医学部小児科学教室 廣野恵一</p>
<p>研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口</p>	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7313</p> <p>FAX 076-434-5029</p> <p>E-mail pediatr@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 富山大学医学部小児科学教室 廣野恵一</p>